

## “ぎゅっと” カーよしだデータ読み解き会について

### 1. 目的

当町における公共交通の不便を解消するため、「新しい交通」として令和5年10月から“ぎゅっと” カーよしだの実証運行を行い、利用実績（毎月）とアンケート調査結果（2回・令和6年1月、令和7年1月）を用いて運行内容の検証を行っています。

利用実績やアンケート調査結果を紐解くことにより、データの陰に隠れている新たなニーズや運行のアイデア等を顕在化させ、深く広く現状を把握し当町の公共交通の未来へつなげることを目的として読み解き会を実施しました。

様々な年代や立場の方と、当町の移動における現在の状況や意見を共有し、データだけでは拾いきれない事象についてグループ内で検討した意見は、今後の“ぎゅっと” カーよしだと吉田町の地域公共交通のあり方を考える基礎情報として活用します。

### 2. 開催日時

令和7年7月13日(日) 14:00～16:00

### 3. 参加者

● 住吉区	4名
● 片岡区	6名
● 北区	3名
● 社会福祉協議会、高齢者サロン「通いの場」参加者	9名
● P T A役員	4名
● 榛原高校グローカル部	4名
● 名古屋大学	学生2名、研究員1名 合計33名

※ 川尻区自治会については当日祭典のため欠席であったことから、個別に同様の条件で読み解き会を実施予定

#### 4. 発表された意見

##### 停留所の増設について

- ① 住吉東側（住吉稻荷神社以東）
- ② 居酒屋周辺
- ③ 榛原病院以外の他市町の総合病院
- ④ 町内のすべての医療施設
- ⑤ 田子重周辺
- ⑥ 片岡杉の子園周辺
- ⑦ 自彊小学校北側住宅街
- ⑧ 中央小学校周辺
- ⑨ 初倉、牧之原などの吉田町隣接エリア
- ⑩ 空港・商業施設・病院など運行エリア外

##### サービスの提供について

- ① ○○停留所はこういうところに行けます、というような案内表示が欲しい
- ② 休日などコールセンターがやっていない日に薬局等でバスの手配を代行する仕組みが欲しい
- ③ リアルタイムで車両の位置がわかる仕組の実装
- ④ ユニバーサルデザインの対応
- ⑤ 停留所にスタンプカードを設置し、スタンプが貯まったら割引となるようなサービスを実施してはどうか
- ⑥ 高齢者の乗降時に体を支えるなどのサポート体制の検討
- ⑦ スマホ予約の講習会を定期的に開催

##### 停留所について

- ① はじめて使う停留所では看板の位置がわかりづらい
- ② 停留所看板の視認性向上
- ③ パンフレットに記載されている地図がわかりにくい

##### コールセンターについて

- ① コールセンターの受付時間の延長
- ② 土日もコールセンターを実施

##### 運行時間の改定について

- ① 居酒屋を利用するため10時半頃まで運行時間を延長

##### 車両について

- ① 車両はハイエースではなくもう少しコンパクトな普通車でも運行できるのではないか

##### 料金について

- ① 高齢者の付き添いについて、一人での乗車が難しいため付き添いが必要だが、同じ料金を払うのは負担に感じる

## その他意見

- ①若い人の利用率が低いのは遊びに行ける施設へのアクセスが不便
- ②1日4本程度最寄りの駅に行ける便が欲しい

## 乗り継ぎについて

- ①鉄道同士での乗り継ぎでも、乗り継ぎをするということは体感的に30分程度余計に時間がかかるように感じる。これがバスとデマンド交通の乗り継ぎとなると利用者にはさらに負担となる
- ②デマンドバスの場合遅れたらバスに乗り継げないという不安があるため乗り継ぎのハードルとなっている。
- ③デマンド交通で一度支払い、バスでも支払いが必要となると二度払うことが心理的に乗り継ぎが面倒だと思ってしまう
- ④「ちゃんと待てる場所がある」「涼しく快適に待てる」環境面を整備することで乗り継ぎの心理的ハードルが下がる
- ⑤岐阜県白川町ではデマンド交通と路線バスを1日券で共通利用できる制度がある。こういった仕組みを検討することで乗り継ぎの経済的ハードルが下がり、利用しやすくなる

## 5. 今後の展望

読み解き会の意見を参考に“ぎゅっと”カーの実証実験を続けるとともに、秋にはデータのパネル展示を交え、利用者と直接対話を行う「オープンハウス形式」での意見交換を実施予定。

